

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第1回相模大野駅北口周辺地区TDM推進委員会		
事務局 (担当課)		まちづくり計画部 交通政策課 電話042-769-8249 (直通)		
開催日時		平成30年5月21日(月) 15時00分～17時00分		
開催場所		南区合同庁舎 講堂		
出席者	委員	15人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	5人		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		開会 1. あいさつ 2. 委員自己紹介、事務局紹介 3. TDM推進委員会の位置付け 4. 委員長・副委員長選出 5. 議題 (1) 地区の現状と課題 (2) 今後のスケジュール 6. その他 閉会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

(◎は委員長の発言、○は副委員長の発言、□は委員の発言、●は事務局の発言)

1. あいさつ

開会挨拶 交通政策課長

2. 委員自己紹介、事務局紹介

自己紹介により委員、事務局の紹介を行った。

3. TDM推進委員会の位置付け

事務局より資料の説明を行い、本委員会に係る設置要綱について承認された。

4. 委員長・副委員長選出

事務局から委員長及び副委員長については、委員会設置要綱第3条第2項により委員の互選により選出する旨を説明。

互選により委員長に谷口委員を、副委員長に有泉委員を選出した。

5. 議題

(1) 地区の現状と課題

事務局から資料の説明を行った。

□アンケートの回収率が低く、信憑性が無いのではないか。このアンケート結果を基準に検討を進めていくのはいかがなものか。

◎他のアンケートの回収率と比較すると回収率は高いと言える。アンケートの性質上、反対意見がある人ほど回答し、賛成意見の人ほど回答しないという傾向があり、集計割合としても少なからず偏るものである。アンケート結果のみを基礎資料として検討することには課題があるが、1つの検討材料として活用することは有効である。

○アンケート結果や交通量調査結果を踏まえて、事務局より提示された改善すべき課題等の方向性は間違っていないと思われる。特に相模大野交差点から駅前までの歩道は非常に狭く、問題だと認識している。過去の区画整理の際、何故歩道の拡幅を実施しなかったのか。

□当該歩道は、当時の区画整理の区域外であったため、拡幅整備が出来なかった。

□歩道上にガードレールを設置しているため、更に狭くなっているのではないか。

◎ガードレールの移設費用が高額となるため、ハード整備等の対策は難しいと思われる。

□相模大野交差点の課題について、ロビーシティ前交差点のように歩車分離式に変更できないのか。

□ロビーシティ前交差点についても、駅方向から16号方面への右折信号の時間が短く渋滞が発生している。こちらも同様に信号時間の変更はできないのか。

□相模大野交差点、ロビーシティ前交差点のいずれも多く改善要望がある。信号現示については、該当する交差点だけでなく、周囲の交差点との兼ね合いや周辺の道路状況を勘案し、調整しなければならない。そのため信号時間を1秒変更するだけでも難しい。

◎信号現示については、様々な要素を考慮し、設定しているため、変更は大変だと認識している。しかし、信号現示の見直しは重要であるため、現在の信号現示時間について、次回会議の前までに交通管理者から事務局へ提供願いたい。

□ロビーシティ前交差点については、昨年度実施した県道51号の歩道拡幅整備により、車道幅員が狭くなった。そのため、駅方向から県道51号への右折車がスムーズに進入できないことや、県道51号から伊勢丹駐車場への進入車両が上手く流れず、整備前よりもさらに混雑が増しているのではないか。バスについても、一般車と同じ理由で運行に苦慮しているのではないか。また、市営駐車場下のバスロータリーへスムーズに進入できないため、混雑の原因のひとつとなっているのではないか。

□一般車と同様、歩道拡幅後はロビーシティ前交差点にて、駅方向から県道51号への右折について苦慮していることは運転手より聞いている。ただし、駅発のバスは、9時以降より市営駐車場を経由するため、朝の混雑には影響していないと思う。

◎アンケートを実施した時は、県道51号の幅員は狭くなっていたのか。

●アンケートの時は、県道51号の整備前である。

◎アンケートが整備前の意見であるため、再度アンケート調査を実施するか検討した方がよいのではないか。

●検討する。また、県道 51 号の整備内容の詳細についても次回までに確認する。

□駅への一般車流入抑制の施策について、テナントの搬入車両への影響や、土地等の資産価値低下の懸念があるため、今後の施策検討の際、配慮して欲しい。

□一般車が駅へ進入できなくなると、周辺の通学路等へ迂回する恐れがあるため、通学生の安全についても考慮して欲しい。また、病院へ通院する人も多く、同様に考慮して欲しい。

□駅周辺の駐停車について、送迎車は長い時間停車していないと思われる。駅周辺の駐停車時間等は調査しているのか。

●調査している。駅ロータリー内の一般車乗降場では平均 30 秒で最大 9 分であり、モアーズのファミリーマート前からフジスーパー前までの区間については、平均 1 分で最大 25 分である。

◎最大 25 分が長いと思われるが、停車している車両の目的等は分かるか。

●停車している車両の目的まで調査しているか、次回までに確認する。

(2) 今後のスケジュール

事務局から資料の説明を行った。

□アンケートと社会実験の違いを教えてください。

●アンケートは社会実験を行う前の情報収集が目的であり社会実験の内容を検討する際に活用する。社会実験は、委員会で決定した施策を 2～3 週間程度の短期間において、試験的に実施するものである。

○他地区において実施している事例はあるのか。

◎他地区でも実施している事例は多い。相模原市では、橋本地区で行っている例がある。

○橋本駅周辺の事例では効果はあったのか。

◎橋本駅周辺は、効果があつと認識している。

●橋本駅では、ソフト施策だけでなく、ハード整備として駅前広場のレイアウト変更を実施しているため、今回の相模大野TDMより大掛かりに対応している。

○相模大野駅周辺はハード面の整備を行わないのか。

●行わない予定である。

□ワークショップには宅配事業者等にも参加してもらってはどうか。

◎ワークショップは広く意見を吸い上げたいと考えているため、可能であれば参加していただきたい。

□駅周辺の状況について、晴れの日と雨の日との違いについても把握したほうが良いのではないか。

●検討する。

6. その他

●次回は、駅周辺の現地踏査を予定しており、朝の時間帯を見ていただきたいと考えている。事務局案としては7時半頃に現地に集合していただき、その後30分から1時間程度現地を見ていただいた後、9時頃から推進委員会を開催したいと考えている。

以 上

相模大野駅北口周辺地区 TDM 推進委員会 委員名簿 ・ 出席者名簿

所属・役職	氏名	出欠席
筑波大学大学院システム情報工学研究科 准教授	◎谷口 綾子	出席
神奈川県中央交通株式会社運輸計画部 計画課長	露木 輝久	出席
神奈川県タクシー協会相模支部 相模原地区会長	大畠 雄作	代理出席
神奈川県相模原南警察署 交通課長	塩澤 正憲	出席
学校法人 相模女子大学 事務局長	速水 俊裕	出席
大野南地区自治会連合会長	大木 恵	出席
相模大野駅前自治会長	○有泉 健一	出席
相模大野駅周辺商店会連合会長	中田 克己	欠席
相模大野北口商店会長	斉藤 誠	出席
公募市民	澁谷 悦子	欠席
公募市民	三好 上次	出席
相模原市環境経済局 経済部 商業観光課長	齋藤 みゆき	出席
相模原市都市建設局 まちづくり事業部 都市整備課長	佐藤 洋一	出席
相模原市都市建設局 道路部 南土木事務所長	青木 克司	出席
相模原市南区役所 地域振興課長	馬場 浩司	出席
相模原市南区役所 大野南まちづくりセンター 所長	渡辺 尚人	出席
相模原市都市建設局 まちづくり計画部 交通政策課長	千葉 修司	出席

*◎：委員長、○副委員長